

# エコ〜つうしん

平成22年(2010)3月11日 編集発行：出雲市役所環境保全課 (TEL21-6535 FAX21-6597)



「エコの会」の皆さん

**「EMの会」**  
(大社町荒木地区)

「EM(ぼかし)」による生ゴミの減量化が各地で行われていますが、大社町荒木地区でも地区の女性を中心とした「エコの会」(世話人 石原吉枝・出雲市ごみ減量化アドバイザー)で、EMを活用した生ゴミ処理の活動を盛んに行っています。

今年も1月に「EMぼかし」づくりが行われました。この会で作ったぼかしを使った農家の女性によると、「ぼかしで作った肥料(堆肥)を畑に撒くと、なんとまげな野菜ができました」とニコニコしながら教えていただきました。

また、これまでも「EM活性化液」をつくり、荒木コミュニティセン

## 〜おもうこと〜

エコ〜つうしんの特派員になるまでは温暖化や生活環境などを考え、私もゴミの分別や減量化など、自分なりに考えて生活してきたつもりでした。私たちが子どもの頃は、「ゴミはゴミ箱に」と言われたくらいで、環境について教わったことや深く考えたことはなかったように思います。

ところが、特派員となりいろいろな所へ取材に行くと、子どもたちからコップ1杯の牛乳を流すとお風呂16杯分の水を使わなければ浄化できないことを教わったり、古紙から小物ができたり、生ゴミから堆肥を作って野菜や花を作ったりと、こどもから年配の方まで、身近な環境を守っていかなくてはならないという思いをもって活動している人がたくさんいるのに驚きました。

みなさんから教えたもらったたくさんの知恵や知識をこれからの生活に生かし、美しい出雲の自然や水や空気をいつまでも大切にしていきたいと思えます。

(今岡特派員)

ターの玄関に置いて販売し、米のどぎ汁を使い、EMの発酵液にして地域の方に活用され、食器や風呂などの洗剤として使用すると汚れもよく落ち、菜園の肥料として使用すると立派な野菜ができるなど、使用した方にとってはとても喜んでいただいているそうです。

同会の皆さんは、これからもEM等を活用しつつ、身近な生活の中で、ごみの減量化をはかり、より良い生活環境づくりに心がけていきたいと話されました。

(村上特派員)

## エコ〜な本の紹介です

(山崎特派員)

### 水の絵本シリーズ1「虹になつたしずく」

文/しばさきつとむ (ウォーターネットワーク)  
絵/かおかおパンダ 発行/雄山閣

遠い宇宙のはてから地球に落ちてきた「しずく」が美しい森の川を流れ、海と交わり、太陽に照らされて雲となり雨となってまた旅をする。人間によって汚された川を下った先には…。小さな一滴の旅を描いた一冊です。



## 「ぼくのくつ」

作・絵/松成真理子 発行/ひさかたチャイルド

おばあちゃんからもらった新しい靴は、ぼくにはぶかぶか。早く新しい靴をはきたくて、古い靴はいらないって思ってしまったら、古い靴がいなくなっちゃった。幼い子のモノに対する純粋な思いを描いた一冊です。



## 「地球が大変! ~ぼくたち わたしたちに できることは?~」

文/久野登久子 絵/おぐらひろかず  
監修/江守正多 発行/フレーベル館

毎日の生活で何気なく「水の出っぱなし」「電気のつけっぱなし」など、もったいないことをしていませんか? そのちょっとだけを一人ひとりが気をつければ、地球を救えることを家族みんなで考えさせてくれる絵本です。



## 環境特派員レポート

### 子どもたちのために

(通学路の清掃)

榆山小学校の近くにお住まいの市川正子さん(多久谷町)は、毎日のように小学校周辺を清掃しておられます。



市川正子さん

市川さんが、夏の強い日差しの中、麦藁帽をかぶって校庭の隅やアスファルトを割って生えてくる雑草を取り、秋には、朝早くからほうきを持ち出し舞い落ちる「ポプラ」の葉を掻き集め、冬には防寒作業帽をかぶり、周辺のゴミを拾っているため、学校の周りの道路はいつも綺麗に保たれています。

入るまで環境を大切にしなければならぬ。そんな思いで自分ができることをやっています。」ととびきりの笑顔と一緒に答えが返ってきました。

(勝田特派員)

本年度最後の環境新聞「エコ〜つうしん第18号」です。今年の冬は、比較的暖かかった様に思います。それでも春は待ち遠しいもので、目に見えて暖かくなると嬉しくなってきました。

日本気象協会によると、桜の開花日が、昨年同様今年も平年より早くなる見込みで、3月下旬には「桜」にお目にかかれそうです。

「桜」といえば、卒業・入進学の日。2年間、地域のさまざまな話題などを寄稿いただきました特派員の皆さんも今春、任期が切れることとなります。お世話になりました皆さま方にこの場を借りてお礼申し上げます。



誠にありがとうございます。

## 「神西湖」

### 「エ」がある〜く〜

2月27日に、神西湖の自然保護と周辺美化の意識向上のため、神西親水公園を会場とし「神西湖エゴある〜く〜」を開催しました。少し肌寒い日でしたが83名の参加があり、野鳥観察や会場周辺のウォーキングをして楽しみました。

野鳥観察会では、出雲市園町の六道湖グリーンパークからホシザキグリーン財団の方に呼ばれていただき、神西湖に出かけていただき、神西湖に



(環境保全課)

飛来生息している野鳥についてわかりやすく説明をしていただきました。

その後、会場の周辺約2.5kmを景色を楽しみながら、ゴミを拾いつつ歩きました。道路の脇など手の届く範囲だけでしたが、約20kgのゴミが集まりました。

最後に、「豚汁」や「おにぎり」を食べ、冷えた体を温めながら話が盛り上がり、参加者から「寒かったけど楽しかった。」「たくさんゴミがあるのに驚きました。」などの感想をいただきました。

寒い中、参加・ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。